

⑥2 地域連携道路整備事業 (立丸峠工区)

受賞機関 岩手県 県南広域振興局 土木部 遠野土木センター
岩手県 沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

キーワード 地域連携、復興支援道路、交通の難所

全建賞審査委員会の評価ポイント

立丸峠は、岩手県陸前高田市と青森県八戸市を結ぶ国道340号の幹線道路上の難所であったが、トンネル等の道路整備により、緊急輸送道路としての機能強化や遠野・宮古両地域の連携を図った事業。トンネル掘削においては、エレクター搭載型吹付機の使用により工期の短縮を図るとともに、セントル脱型後の湿潤養生と期間を確保することで覆工コンクリートの緻密性向上を図った点が評価された。

1. はじめに

一般国道340号は、岩手県沿岸南部の陸前高田市を起点とし、遠野市や宮古市を経由して青森県八戸市に至る北上高地を縦断する唯一の幹線道路である。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の際、沿岸部の一般国道45号等が通行止めとなる中、後方支援拠点として機能した遠野市から宮古市や大槌町、山田町を結ぶ道路として、自衛隊や消防、物資輸送等の緊急輸送道路として大きな役割を果たし、この度、復興支援道路^{*}として立丸峠工区が整備されたものである。

^{*}「岩手県東日本大震災津波復興計画復興実施計画（H23.8岩手県策定）」で位置付け。

2. 事業の概要

遠野市と宮古市の境にある立丸峠は、遠野市の国道283号から宮古市の国道106号間で唯一の未改良区間で、道路幅が狭く、急カーブ・急勾配が連続しており、冬期には雪崩等による全面通行止めが発生する、交通の難所とされていた。

このため、平成24年度に立丸峠工区の整備に着手。道路区分3種3級、設計速度50km/h、立丸第一トンネル1,839m、同第二トンネル920mを含めた全延長5,210mを整備し、平成30年11月29日に全線開通した。

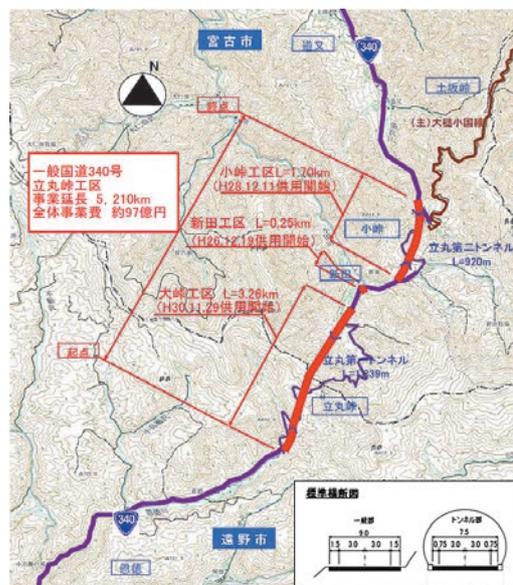


国道340号立丸峠工区全線開通（H30.11.29）

3. 事業の成果

立丸峠工区の整備により、遠野市（国道283号）～宮古市（国道106号）間で、約4kmの距離短縮、約6分の時間短縮が図られた上、隘路区間の解消やトンネル整備により安全で円滑な交通が確保されることで、遠野市と宮古市の地域連携による地場産業や観光の活性化が期待されている。

また、災害時等における救助・救援・物資輸送等の緊急輸送道路としての確実性や、救急医療施設へのアクセス性の向上で、地域生活の安心確保が図られるものである。



一般国道340号立丸峠工区全体計画

4. おわりに

立丸峠工区の施工では、トンネル掘削におけるエレクター搭載型吹付機使用による工期の短縮、また、セントル脱型後の湿潤養生と養生期間確保による覆工コンクリートの緻密性向上、さらには坑内で重複する舗装及び非常用設備工事の工程調整により、峠道の通行が厳しくなる冬期積雪期前に全線開通ができ、地域の方々に大変喜ばれた。

これも、工事関係者の御尽力、さらに関係機関の皆様への御理解と御協力の成果と考える。改めて感謝申し上げたい。

賛助会員 いであ(株)、(株)エイト日本技術開発、(株)大本組、(株)奥村組、(株)建設技術研究所、(株)鴻池組、大成建設(株)、大日本コンサルタント(株)、日本工営(株)、(株)復建技術コンサルタント